



No. 2811

2016-2017年度

会長 松村 秀一

幹事 橋爪 誠治

R広報委員長 上野山栄作



第2640地区	
例会日	毎週木曜日 12:30
例会場	紀州有田商工会議所6F
事務所	〒649-0304 有田市箕島33-1 紀州有田商工会議所2F 有田ロータリークラブ Tel (0737) 82-3128 Fax (0737) 82-1020
創立	昭和34年6月15日
ホームページ	http://www.aridarc.jp
e-mail	office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



～有田ロータリークラブ目標～

親睦を深め
ロータリーライフを楽しもう



次回のお知らせ

平成29年1月26日 第2813回

- ・外部卓話：長洲 央訓 氏 (株アレック社長)
- 「最新脳科学を社会に活かす～幼児教育から長寿の秘訣まで～」
- ・ソング：「四つのテスト」

本日のプログラム

平成29年1月19日 第2812回

- ・会員卓話：橋本 拓也 君
「当社の安全への取り組み」
- ・ソング：「我らの生業」

前回の報告 (第2811例会)

開催日 平成29年1月12日(木)

点 鐘 (松村会長)

ゲストの紹介 (井上親睦活動委員長)

ゲスト: 董涛君 (米山奨学生)

橋爪美智代さん、橋爪千恵さん、橋本早百合さん
石垣よしみさん、岩橋逸子さん、成川恵美さん
中元礼子さん、嶋田一代さん、上野山千穂さん
上野山美知子さん、上野山りかさん
脇村佳世子さん、井上恵実さん

会長の時間 (松村会長)

明けましておめでとうございます。みなさまに於かれましては、健やかに新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

営利目的の企業が、地球環境問題や人権保護などの社会的課題に取り組む理由は二つあります。

一つは、その活動自体が収益を見込める事業の場合です。自動車メーカーならば排気ガスを出さないあるいは少ししか出さない車。廃車にした時部品を再利用出来るよう工夫をするなどです。住宅会社であれば自然エネルギーを活用し二酸化炭素を生み出さない住宅を提供したり、容易にリノベーション出来るようにし住宅の寿命を延ばす工夫をしたり、住宅を解体する時に部材を再利用できるように計画したりすることなどです。製造業以外で環境負荷が小さい金融機関であっても、融資先や投資先を通じて、大きな影響力を発揮できるはずで

す。二つ目は、そうした業種特性にかかわらず、すべての企



業を対象とした企業の社会的責任で有ります。今までは寄付やボランティア活動などの社会貢献活動が中心でした。しかし、今では企業の社会的責任といえば本業の営利活動がいかにか社会に貢献しているか重要視するようになってきています。

企業活動の社会的責任という概念は日本では昔からありました。近江商人の「三方よし」の経営精神に代表されます。これは皆様もご存知のように、買い手に喜んでもらうことはもちろん、社会貢献できてこそ良い商であるという考えであり、社会との関わりを重視する視点が含まれています。売り手の都合だけで商いをするのではなく、買い手が心の底から満足し、さらに商いを通じて地域社会の発展や福利の増進に貢献しなければならない。という理念であります。

今月は職業奉仕月間です。私は職業奉仕と聞くと近江商人の「三方よし」をいつも思い浮かべますので三方よしについてお話をさせて頂きました。

幹事報告 (橋爪(誠)幹事)

◎地区より

1. 1月のロータリーレート 1ドル=116円
2. 2017-18年度 地区への出向について
嶋田崇君:財団資金管理小委員会 委員へ
上野山栄作君:社会奉仕委員会 委員へ

出席報告 (児島例会運営委員)

本日の会員数26名
(出席規定免除会員8名)
出席会員数23名
(出席規定免除会員8名)
88.46%
12/15 76.00% MU:なし

ニコニコ箱の報告

松村君:あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

橋爪(誠)君:新年あけましておめでとうございます。会員の皆様、家族の皆様にとって良い一年になりますように。本年も宜しくお祈りいたします。

成川(守)君:明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。

石垣君:今年もどうぞよろしくお祈りします。

岩橋君:新年おめでとうございます。

橋爪(正)君:明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈りします。

上野山(英)君:明けましておめでとうございます。

上野山(捷)君:今年もよろしくお祈りします。

児島君:おめでとう! 会長さんはじめ役員の皆様、あと半年、よろしくお祈りします。

脇村君:本年もよろしくお祈りします。

嶋田(崇)君:今年もどうか宜しくお祈りします。

岩本君:正月の諸祭及び十日戎祭りもおかげ様でおだやかな天候に恵まれ無事済みしました。

宮井君:新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り致します。

中村君:明けましておめでとうございます。本年も宜しくお祈り申し上げます。年末ジャンボはいつも通り不発でした。

浅井君:新年明けましておめでとうございます。日本一出席率の悪い会員だろうと思います。ロータリー精神だけではなくしてないと思います。本年もどうぞよろしくお祈りします。

中元君:明けましておめでとうございます。本年度も頑張っていきたいと思っています。

上野山(栄)君:皆様、本年もよろしくお祈りいたします。年末には大役を頂きました。身を引き締めて一年を使っています。

橋本君:新年おめでとうございます。子供が近くの滋賀に越してきました。近くで孫とちよくちよく会えるようになります。

成川(雅)君:本年もよろしくお祈り申し上げます。

成戸君:新年おめでとうございます。なかなか時間的にうまく調整出来ないでいます。申し訳なく存じます。今年もよろしくお祈りいたします。

嶋田(ひ)君:おめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

井上君:明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

年頭所感

会員
應地 正章 君



今まで年頭所感を話される先輩方を見ていると、私はまだまだ先の話やと思っておりましたが、ついにその時がやってきました。

ロータリーについても振り返らなければなりません。早いもので今年の7月で入会20年になります。こんなに長くロータリーに在籍できたのは、素晴らしい先輩方との出会いがあったからです。そして素晴らしいロータリーの理念に出会ったからです。私がロータリーに入会した頃は、会員が60人オーバーで、例会場は満杯で、活気にあふれていました。ロータリーの知識は砂漠に水が染み込むごとく吸収したと言いたい所ですが、なかなか難解で、特に職業奉仕は理解に苦しみました。

そしてロータリーは奉仕団体ではなく、人づくりであるということもわかってきました。

ロータリーの奉仕活動は、その奉仕活動がより良い成果を収めることが目的ではなく、その奉仕活動を通して会員が自己研鑽することであるということが理解できました。

ロータリーの理念にはわかりづらいことがたくさんありますが、不審感を抱いたことはありませんでした。例会がロータリーの原点であるという教えに従って、この20年間出席を続けてきました。

しかしここ数年前からRIの考えに不信感をいだくようになりました。例えば最近のRIは以前ほど例会を重要視しなくなってきました。去年の規定審議会でロータリーの根幹にかかわる変更がありました。ロータリーの本丸である例会、長年週に一度開催してきた例会を、月に最低2回開催すればよいとなりました。勿論、最低2回でありますから、今まで通りでもよいのです。その判断は各クラブの裁量に任せられ、幸いにも当クラブは現行通りの例会数を堅持していくようです。

そして大規模な奉仕活動をして、かつ大きな成果を得よう、寄付をどんどんしよう、という方針があからさまになってきました。現在のロータリークラブはどんどんライオンズ化しているのです。約90年前 we serve を旗印にロータリーから分かれていったライオンズに向かっていっています。と言うことはライオンズクラブに先見の明があったということでしょうか? 決して奉仕活動や寄付が悪いと言っているわけではありません。そういうことをしたいのであれば、ライオンズクラブに入ればよいのであって、ロータリークラブがする必要はないと思います。

「ロータリーは時代と共に変わらなければならない。」とよく言われます。現在の変革もそのひとつなのでしょう。また「ロータリーには変えてはいけなことがある。」ともよく言われます。その最たるものが例会重視であると教えられてきました。ロータリーはいったいどうなっていくのでしょうか? 特に日本人の考えている理想のロータリーを求めていくのが難しい時代になってきました。このような変革が起こってきた数年前、日本はRIを脱退し、日本ロータリーを作るべきだ、ポール・ハリスの精神を受け継ぐのは日本であるなどと、冗談半分で話されていたことを思い出しますが、本当にこれが冗談ではなくなってくる時代がやってきました。

これからRIが進んでいく未来と有田ロータリークラブは無関係ではられません。何とかして帳尻を合わせて、RIと付き合っていかなければなりません。でも最近ロータリーに入会した会員にとっては特に問題ないのかもしれない

ん。こんなことを言ってるのは、かなりロータリー歴のある会員で、古い会員は次第に淘汰され、新しい方向に向かうのに何の疑問も感じずになっていくのだと思います。「ロータリーは奉仕団体だ。」と思っている新しい会員が日本にも沢山います。

またこんな根幹にかかわることではないのですが、気になることを言わせてください。有田ロータリークラブでも定款や細則に書かれていない、習慣や決まりごとがなくなってきたように思います。ロータリーの精神とは違うところでの変化ではありますが、私の気になるところです。いわゆる様式美が崩れてきていることです。

一例をあげればここ数年閉会の挨拶がなくなってきました。私が入会した頃は必ず副会長が閉会の挨拶をしていました。最初は何かたぐるしいなと思っていました。ある時に先輩に閉会の挨拶が必要なんかと聞きますと、その先輩は、「これは人前でしゃべる練習なんや。会長になって人前で話すことが多くなるし、人生においても人前で話すことが多くなるのでそのためにするんや。」と言われました。なるほどと思いました。私は閉会の挨拶を聞いている立場でしか考えていませんでした。しゃべっている人にとって重要であるという発想はありませんでした。

そんなこと別にどうでもええやんか、形式ばっている、邪魔臭い、簡素化しようと言ってなし崩しに慣例が崩れていくのは根本が崩れていく前兆のように思います。ロータリーを変えたいという意識があり、そのために外堀から埋めていく、そのために様式を破壊するというのなら、まだわかりますが、うっとうしい邪魔臭いぐらいで、やめていくのはいかがなものかと思えます。ロータリーソングを歌っても意味がないからやめてまえとか、点鐘は必要かなどと言いつつも出さずかもしれません。

今年7月から成川(守)先生が2度目の会長に就任します。有田ロータリーを第1回成川会長時代のように活気あるクラブに復活させてください。全会員が一致団結して盛り立てようとするでしょうし、やっぴいかなければなりません。私も一会員として頑張りたいと思います。

年男所感

会員

脇村 重徳 君

(昭和20年4月28日生)

酉年生まれ



皆さま、新年明けましておめでとうございます。お元気で新しい年を迎えられたことと思います。私はこの4月には満72歳を迎えますが、現会員のなかでは酉年生まれは私一人とはいえ、こうして新年早々皆さん方の前に立たせていただくことを大変光栄に思っております。

日本人の平均寿命の伸びとともに、昨年、全国の100歳以上の高齢者が過去最多の6万5千人を超えました。長寿といえば、昨年、100歳でお亡くなりになられた三笠宮さまの主治医を務められたのが何と聖路加病院の105歳の日

野原先生だったそうです。先日、その日野原先生の「105歳記念講演」をお聞きする機会がありましたが、聞きしに勝る饗饌とした話しっぷりを目の当たりにし度肝を抜かれました。まさに長寿大国日本を象徴する出来事といえるのではないのでしょうか。

しかし、ただ単に長生きすればいいというものでもありません。孔子は、人生において年齢とともに人間的価値を高めていく必要があるということを説くため、各年代の努力目標を「論語」に記しました。子曰く、「吾、十有五にして学に志し、三十にして立つ。四十にして惑はず。五十にして天命を知り、六十にして耳順(したが)ふ。七十にして心の欲する所に従へども、矩(のり)を踰(こ)えず」というあまりにも有名な一節であります。つまり、70歳にもなると思いつりに振る舞っても道を外すことはない、人間的に完成する年齢であると説いているのです。

ただ、「70歳は人間的に完成する年齢」といわれても、これはあくまで努力目標であって、私をはじめ誰もなかなかこうはいかないのが現実ではないのでしょうか。そういう人のために考えられたのかどうかは知りませんが、「論語」と同じ「四書五経」の一つである「礼記」には「論語」に書かれた目標よりもずっと易しい人生訓が記されています。「七十を老という。而(しこ)うして伝う。八十・九十を耄(ぼう)という」一節であります。まず、70歳はもう年なのだから職務や地位は返上しましょうと説きます。私は70歳までに仕事を辞めましたので、これはまあ合格ですね。そして80歳、さらには90歳に向けては気力や体力が衰えてくるので愛情や保護をいただけるように、周りの人々に迷惑をかけないように振る舞うことが肝心ですよと説いているのです。程なくかみさんに面倒をかける身となることを考えれば、せめてこれくらいは残された人生の努力目標にしたいものです。

それにしても、2000年以上も前に生きた先人が、人間は年齢とともに成長・発展する、いや成長・発展しなければならぬことに着目し、人生を幾つかの段階に分け、今の時代においても十分通用するような壮大なライフプランを提示していたのには驚かされます。先人が私たちのために残してくれた数多くの人生訓のほんの一部でも胸に刻み込み、既に老年期入りした人生を私なりに楽しめればと思っています。

最後に酉年に因んでロータリーでの抱負を一言申し上げます。「とりわけ、地域の皆さんがうっとりするような、色とりどりの奉仕活動をとり揃えて会員一同でとり組みます」有難うございました。

会員の年頭所感

浅井君: 本年も県政の発展に全力投球で頑張ってお参ります。合わせて県民の皆さんが安全で安心して暮らせるように減災、防災対策にもしっかり取り組んで参ります。尚、有田ロータリークラブには会費の納入位しか協力出来ず申し訳ありません。本年もどうかよろしくお参りします。

石垣君: あけましておめでとうございます。今年も健康に留意して頑張ります。

井上君: 今年も体に気をつけます!

岩橋君: 元気に初詣に行ってきました。今年こそ終活を準備したいと思っています。

岩本君:今年も元気でロータリーを楽しみたいと思います。
 上野山(栄)君:本年の私の1字は「協」です。会社が丸となれるよう、又、自分自身を自分の為ではなく他の事柄に使えるよう精進してまいりたいと考えます。
 上野山(捷)君:今年も心身の健康を願っています。
 上野山(英)君:本年から後期高齢者になりました。喜んでいいのやら、悲しんでいいのやら。
 應地君:あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。
 児島君:文字どおり、“おまけの人生”を楽しみます。
 嶋田(崇)君:健康でマイペース!
 嶋田(ひ)君:今年は色々勉強したいと思っています。皆様ご指導宜しくお祈り致します。
 中村君:酉年のごとく成熟した有田RCになりますよう祈念いたします。

中元君:体力増強(個人)、会員増強(クラブ)「トリ」あえず、この2点を中心に頑張ります。
 成川(雅)君:今年こそ。
 成川(守)君:健康第一に!
 成戸君:年頭に当たり、健康、時間、仕事、管理に頑張りたいと思います。そして、今さらではありますが、人とのつながりをより大切に歩んでいきたいと思っています。
 橋爪(誠)君:①明るく、元気に、活発に! ②ダイエット
 橋爪(正)君:青年の心をいつまでも持ち続けたい。
 橋本君:健康でたのしい一年に。
 松村君:今年一年の前半だけ一生懸命やります。
 宮井君:健康に注意して今年もロータリー活動を頑張ります。
 脇村君:「ケッコー」な年になりますように!!

閉会・点鐘 (松村会長)

有田ロータリークラブ新年例会
 ~懇親会の様子~

- 第1部 桂三歩さんの落語
- 第2部 食事会とガラガラ抽選会

